

## 3月度理事会議事録（2025年3月11日（火）開催）

1. 会長報告（1月14日（火）～2月10日（月）出席案件）  
2/11（火）日本人会・理事会 於：本館  
2/13（木）JTBF(Japan Thailand Business Forum)/TJA(泰日協会)夕食会  
2/14（金）Japan Dream Football Association 木場様・渡辺様 面会 於：本館  
2/16（日）カンチャナブリ慰靈塔法要  
2/16（日）セレッソカップ（代理出席：太田オブザーバー） 於：Yamaoka Hanasaka Academy  
2/18（火）TJA Board meeting 於：InterContinental Hotel Bangkok  
2/18（火）大使館ナショナルデー 於：QSNCC  
2/21（金）成人の日祝賀会 於：本館  
2/23（日）JCC 70周年記念イベント開会式 於：テープハッサディンスタジアム  
3/3（月）TJA/JCC/Kbank Joint セミナー 於：The Athenee Hotel  
3/6（木）日本人会・企画推進部会及び三役会 於：本館  
3/7（金）タイ東レ科学振興財団 贈呈式（代理出席：垣内理事） 於：The Athenee Hotel  
3/8（土）バーンラック幼稚園・佐藤正喜氏 通夜 於：ワット タートン  
3/9（日）ANA 寄席 於：Aksra Theatre

### 2. 退任理事・オブザーバー挨拶、新任オブザーバー挨拶

- ・日高 和郎 理事 (Marubeni Thailand Co., Ltd.)
  - ・鈴木 和哉 オブザーバー (JICA Thailand Office)
  - ・藤原 豊秋 オブザーバー (NIKKEI Inc, Editorial Headquarters For ASIA)
- 退任のご挨拶をいただいた。
- ・作道 俊介 オブザーバー (JICA Thailand Office)
- 後任としてご挨拶をいただいた。

### 3. 一般報告（事務局）

#### （1）2月度個人会員動向

入会者 75名 退会者 174名 現会員数 4,659名（内、準会員 32名 会友会員 200名）  
(前年同月 4,792名・前年同月比 97.2%)

#### （2）2月度賛助会員

〈入会 3社〉

- ・Questor Capital Co., Ltd. (金融商品仲介業)
- ・STA Travel Co., Ltd. (日本法人：旅行業全般)
- ・Catal(Thailand)Co., Ltd. (英語学習塾)

現会員数 500社 (前年同月 503社・前年同月比 99.4%)

#### （3）会員優待店

【新規店舗】

- ・Reiwa Soba
  - ・Enishi
- (2店舗とも One City Centre 内店舗)

## 【脱退店舗】

オンラインカウンセリング cotree

現在の有効店数 80 店舗

### (4) 2月度会館来訪者数

本館：延数 410 名（実数 352 名）

別館：延数 1,804 名（実数 579 名）

合計：延数 2,214 名（実数 931 名）

（前年同月 延数 2,687 名（実数 1,103 名） 前年同月比 82.3% (84.4%)）

### (5) 会館貸出サービス

・2~4 月の法人利用を紹介した。旅行会社の説明会や企業の会議などで予約を頂いている。

### (6) 2月度寄贈報告

・寄贈品

盤谷商工会議所様及び委託会社様から 提灯 60 張り ご寄贈いただいた。

・本の寄贈

田村 奈央様、Satika Matsushita 様、他 3 名様より、合計 138 冊寄贈頂いた。

### (7) 2月度会計報告

・2月度収入は、130 万バーツ（前年同月 99 万バーツ 前年同月比 131.5%）

・2月度支出は、295 万バーツ（前年同月 237 万バーツ 前年同月比 78.5%）

・単月収支は、-165 万バーツ（前年同月 -138 万バーツ 差額 -26 万バーツ）

・累計収支は、-1 万バーツ（前年同月 14 万バーツ 差額 -16 万バーツ）

### (8) その他報告

・3 月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

## 4. 後援名義・ロゴ使用申請（事務局）

対象事業名：タイ国内ホームステイプログラム・ルアムジャイ

・開催日：2025 年 4 月～2026 年 3 月 於：バンコク在住日本人家庭・シラチャ在住日本人家庭

・主催：ホームステイプログラム・ルアムジャイ実行委員

・要請事項：ロゴ使用、広報協力、部屋利用

→異議なく承認された。

対象事業名：T の極み 第 6 回単独ライブ

・開催日：2025 年 4 月 5 日（土） 於：日本人会別館

・主催：Yoshimoto Entertainment (Thailand) Co., Ltd.

・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

対象事業名：FC 町田ゼルビア フットボールクリニック in バンコク

・開催日：2025 年 7 月 26 日（土）・27 日（日） 於：Polo Football Park

・主催：FC 町田ゼルビア

- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力  
→異議なく承認された。

対象事業名：Jintan U-14 ASEAN Dream Football Tournament 2025

- ・開催日：2025年7月21日（月）～26日（土） 於：ヴェルソーインターナショナルスクール
- ・主催：U-14 ASEAN Dream Football Tournament 大会実行委員会
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力  
→異議なく承認された。

対象事業名：TEIJIN U-17 New Generation Cup 2025 in Thailand

- ・開催日：2025年10月30日（木）～11月2日（日） 於：Thonburi Studiam (Thonburi University)
- ・主催：U-17 New Generation Cup 大会実行委員会
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力  
→異議なく承認された。

## 5. 準会員申請（事務局）

- ・Kijpanich Penpicha 様  
→1名様より準会員申請があり承認された。

## 6. (承認事項) 2025年度予算について（会計部/事務局）

### 【2025年度予算方針の確認：12月理事会発表】

- ・会館問題・会費値上げ問題など検討すべき課題は認識するものの、来期の予算方針としては、会員数は、2024年度実績ベースとする。
- ・収入については、会費外収入の増収を見込み2024年度予算並みの2,500万バーツを確保する（今期予算比：99.5% 今期見通し：102.6%）
- ・支出については、本年度実績見込み程度の2,600万バーツ（今期予算比：90.0% 今期見通し：99.8%）とし、各部には更なる経費節減のお願いをしたい。各部会や同好会の補助金は、無駄のない支出であることを前提として、維持する。支出全体としては、2024年度基本予算より、-10%を目標。
- ・会員増強施策については、2025年度も継続して実施できるよう予算枠を確保する。

### 【2024年度実績見込】

#### 収入見込（12月末実績反映）

- ・2024年度実績見込みは、収入2,589万バーツ（前年実績比107.3% 予算比103.1%）となった。
- ・個人会員数（年平均）は、4484名で、前年実績から90名減少（前年実績比98% 予算比95.4%）、入会者数は、1545名で、前年実績より78名減少（前年実績比95.2% 予算比90.9%）賛助会員数（年平均）は、499社で前年実績より12社減少（前年実績比97.7% 予算比96.9%）となった。但し、会費収入としては、1,771万バーツ（前年実績比106.5% 予算比104.8%）と予算実績とも上回る見込みとなった。これは、予算上は会員数に対して一定の未収を見込み（支払いをされないで退会される）予算建てしているが、会費の更新のお知らせを、従来の手紙の郵送だけでなく、eメールでも行っており、未収率の低減・回収サイクルの早期化（会費を遅延することなく、事前に支払って頂いている）が実現できている結果だと考えている。
- ・会費外収入（教育部英検を除く）は、531万バーツ（前年実績比117.0% 予算比103.1%）広告封入・イベント収入が増加した。
- ・教育部（英検）は、287万バーツ（前年実績97.2% 予算比93.9%）の見込みである。

### 支出見込・収支見込・次年度繰越（12月末実績反映）

2024年の支出見込は、2,641万バーツ（予算比87.0%）、収支見込は当初予算-523万バーツから赤字幅を471万B縮小し-52万バーツ、次年度への繰越金は3,512万バーツの見込みである。

### 【2025年予算：事務局案】

- ・個人会員数は、4,500名、賛助会員数は500社とする。
- ・収入は2,541万バーツ（前年実績比98.1% 前年予算比101.2%）、支出は2,905万バーツ（前年実績比110.0% 前年予算比95.7%）単年度収支は、-363万バーツ（会員増強策を除く収支は-313万バーツ）となった。增收策としては、英検の新規受験級の増級（準2級プラス）、入会促進・会員満足度向上の為の有料イベントを充実させることでの収入増を見込んだ。
- ・支出については、支出削減や収入増加の検討に加え、会員維持のための現行予算の確保および会員満足度向上のための予算も計上した。会員増強施策のための予算については、事務局案では50万バーツを暫定的に計上した。

### 【予算審議委員会においての審議結果】

- ・運営に関わる収入支出については、事務局案で進める。
- ・縮小均衡になっているので、赤字になってしまも活動を活性化するように予算を手当していく。
- ・2024年度未消化になっている会員増強施策のための費用を繰り延べ150万バーツの予算を確保。但し、特別予算枠ではなく企画推進部に組み入れ、部長決裁で推進できるような体制とする。
- ・企画推進部内に実行委員会を設置し、イベントの実施を検討していく。（2日間開催するチャリティーバザーについても、会員増強の費用を活用し会員の参加できるイベントにしていく）
- ・中期計画、会費値上げに関しては会員増強を目的としたイベント等の実施成果を見て今後審議していく。

### 【確認：会館統合】

- ・単年度黒字化を目指して、会館統合について、検討してきたが、会の存続に危ぶまれるような危機的な財政状況になった際の最終手段として検討する。現状においては、会員増強施策の実施をしていき、必要な時期に、会費値上げの検討をしていく。

### 【2025年度予算・予算審議会案】

- ・2025年度予算案は、以上の結果、収入2,541万バーツ（支出3,005万バーツ（前年実績比113.8%前年予算比99.0%）、単年度収支は-463万バーツ（前年予算-525万バーツ：前年予算との差異-62万バーツ：今期実績見込み-52万バーツとの差異-384万バーツ）となり、次年度への繰越金は3,049万バーツとなる。

### 【油井会計部長より】

- ・2024年度の反省として、会員増強施策として150万バーツを予算計上したが8万バーツ程しか使用できなかった。2025年度も会員増強施策を実施していき、より機動性を高くする為、企画推進部の予算へ新たに入れ込むこととする。

→本予算案は、異議なく承認された。

### 7.（報告事項）2024年度チャリティー基金・審議案件（チャリティー基金運営委員会/事務局）

- ・先月の理事会で、継続審議中とお伝えしたバーン・ロムサイ宛の寄付について、委員会にて決定し

たので報告したい。

- ・バーン・ロムサイ

50,000 バーツ (図書館利用の促進、PCトレーニング、地域住民と子ども達の交流イベント)

・2024年度は、13団体に総額1,169,800バーツの支援を決定した。(今年度の支援額上限目安:118万バーツ)

奨学金支援 502,000 バーツ (6件:43%)、活動支援 367,800 バーツ (5件:31%)、施設修繕 300,000 バーツ (2件:27%)

・2月27日(木)に日本人会本館にて、Social Catholic Center Regina Pacis の寄付贈呈式を開催したことを報告した。(支援額:66,000 バーツ、寮生への奨学金33名分)

・今後の寄付贈呈式の予定を報告した。3月26日(水)にメコック財団とクロントイ幼稚園、3月28日(金)にCLC(旧ワットアルンCLC)、プレー盲学校、アークどこでも本読み隊、虹の学校の寄付贈呈式を開催する。尚、クロントイ幼稚園及びCLCについて、現地に訪問して贈呈式を行うことについている。

【大久保チャリティー基金運営委員長より】

今年度のチャリティーイベントはアイコンサイアムで開催できたこともあり、収益金も増え、寄付についても新しい寄付先を含め、前年度より寄付を増やすことができたのは良かったと思う。企画推進部会議において議論をはじめているが、来年度のチャリティーイベントにおいても同様に盛り上げ、収益金を上げ、寄付に繋げていきたい。

【熊本チャリティー基金運営副委員長より】

日本人会のチャリティー活動について広く会員外の方にも告知をしていきたい。寄付贈呈式を終えた3月末頃に英語のプレスリリースを作成し、タイ社会にも広く知っていただけるようにしたい。

8. (情報共有) 2025年度定期総会について

・4月24日(木)定期総会をS31スクンビットホテルにて開催する。18時より臨時総会、19時より定期総会、20時より第二部として懇親会を実施予定である。

・3月10日(月)発送の会報に委任状を同封している。総会には、会員の10分の1以上の出席者及び委任状(約500名)が必要となる。オンラインでも委任状が提出できるようにしているので、各社の協力をお願いしたい。

9. 各部・各委員会報告及び提案等(発表順)

(1) 会報・広報部(井上理事)

・ワム、パノーラ、タイ自由ランドの無料情報誌3誌に掲載する広告を紹介した。

・1月のホームページアクセス状況は、訪問数9,595、閲覧数21,331で、LINE配信した日の閲覧数が高くなった。前年同月比は、訪問数111.5%、閲覧数112.1%、前月比は、訪問数95.7%、閲覧数92.2%であった。タイからの訪問数は66.2%、日本からは30.5%。前月と比較し、タイからは3.2%、減少、日本からは5.3%増加している。日本からの閲覧は、東京、大阪、神奈川、千葉、愛知の順に訪問があった。

・LINEは8回の配信、登録者は前月より38名増加し、8,453名。(有効者数4,271名)

・Facebookは36回の投稿、登録者は前月より38名増加し、3,836名。

・Instagramは32回の投稿、登録者は前月より30名増加し、2,235名。

・X(旧Twitter)は10回投稿し、フォロワーは前月より14名増加し、1,392名となっている。

## （2）教育部（田中理事）

- ・2024年度第3回英検について、3月2日（日）に二次試験を開催し201名の方に受験いただいた。
- ・2025年度第1回英検の試験日程を報告した。Web申込受付が4月28日（月）9:00～29日（火）9:00までとなり、一次試験を5月31日（土）・6月1日（日）、二次試験を7月6日（日）に開催する。2025年度より新設される準2級プラスも実施予定である。

## （3）文化部（澤田理事）

- ・2月・3月の活動について報告した。2月16日（日）に将棋同好会が日本人会将棋大会、女声コーラスがThe 33rd Annual Concert、2月22日（土）～3月2日（日）にクレンテープ写真倶楽部が写真展、3月8日（土）に国際結婚友の会がお茶会を開催した。

## （4）事業部（日高（日高洋行）理事）

- ・2月16日（日）にカンチャナブリ慰靈塔法要を実施し、大鷹大使、成鳩領事部長、川村広報文化部長、島田会長、日高名誉会員他、理事・オブザーバーの皆様8名、一般の参加者38名、合計51名の方にご参列いただいた。なお、法要にはフジテレビの取材が入った。放送日時は未定だが、戦後80年の企画としてカンチャナブリを取り上げ、その中で今回の取材を取り上げていきたいとのこと。取材の映像を使用されるかも未定とのことだが、放送日時が決まつたらフジテレビより事務局へ連絡をいただける予定。
- ・2月の内野師の活動を報告した。ご廻向、ご供養、写経会、写仏会など執り行った。吉田幸江様より僧房に簾4巻ご寄贈頂いた。
- ・今後の予定について報告した。3月25日（火）に日本人納骨堂春季彼岸法要を実施する。

## （5）青少年部（日高（日高洋行）理事）

- ・3月の活動について報告した。3月1日（土）にバスケットボールサークルが練習試合（対Anglo Singapore）、剣道サークルが部内大会・お楽しみ会、3月9日（日）に演劇サークルが定期公演「夢に向かってコケコッコー！」を開催した。

## （6）学校代表（藤原校長）

- ・3月8日（土）に午前に小学部、午後に中学部の卒業式を実施し、大鷹大使にもご臨席いただいた。

## （7）JCC代表（易木事務局長）

- ・2月23日（日）に開催したJCC70周年記念事業は無事盛況のうち終了となった。日本人会の皆様におかれでは、ラムウォン盆踊りにおいての知見をもっていらっしゃり且つ熱意をもってサポートいただけたことで大成功できたと思っている。島田会長はじめ日本人会理事会メンバーの皆様、同好会・青少年サークルの皆様、事務局の皆様には多大なご協力をいただき改めて御礼を申し上げる。

## （8）運動部（事務局）

- ・2月の活動について報告した。2月22日（土）・23日（日）に親子野球同好会がKLフレンドシップ少年少女野球大会へ出場した。

## （9）厚生部（事務局）

- ・2月の出産準備教室＆すくすく会は、ミュージックタイム、キッズルーム無料開放＆ボランティア説明会、はじめのいっぽ、ひなまつり等、10イベントを開催。はじめのいっぽは、6組にご参加いただき、キッズルームを初めて利用する方や、行っても人見知りしてしまいそうな方などを対象に「ちょっと勇気を出して足を運んでみませんか？」という趣旨のもと開催した。

・2月のメイド紹介ボランティアは、求人6名、求職11名の登録、1組の成立（試用期間）となつた。

・2月21日（金）に島田会長・室賀副会長・室賀元日本人学校校長参列のもと、2024年度成人の日祝賀会を日本人会本館にて開催した。新成人2名（柴英見様・田中律希様）と新成人親族4名、合計6名にご出席いただいた。お祝いのスピーチと記念品贈呈の後、参加者の皆さんで乾杯し、和やかな会となつた。

#### （10）企画推進部（事務局）

・2月の定期レッスンとして、2月6日（木）に日本人会別館にてソープカービング体験会を開催し、29名の方にご参加いただいた。レッスンはITDA日・タイ文化交流センターへ委託して行った。

・2月の定期レッスンとして、2月6日（木）～27日（木）の期間に日本人会別館にてBeat HIITを4回コースで開催し、23名（満員）の方にご参加いただいた。レッスンはJSS Star Platinum Co., Ltd.へ委託して行った。

・2月の定期レッスンとして、2月10日（月）～3月3日（月）の期間に日本人会本館にてエアロボクシング（入門）を4回コースで開催し、9名の方にご参加いただいた。レッスンはJSS Star Platinum Co., Ltd.へ委託して行った。

・3月の定期レッスンとして、3月6日（木）にサミティベート病院スクンビットご協力のもとサミティベート病院内の講堂にて、フィットネス体験会を開催し、33名の方にご参加いただいた。レッスンはJSS Star Platinum Co., Ltd.へ委託して行った。

・2月・3月の定期レッスンとして、2月6日（木）～3月24日（火）の期間でタイ語基礎クラスをリアル（日本人会別館）とオンラインそれぞれ4回コースで開催し、計24名の方にご参加いただいている。レッスンはJTCA Co., Ltd.へ委託して行っている。

・3月20日（木）に第2回となる贊助会員企業向けの日本人会交流会を開催予定。当日は江草オブザーバーに進行いただく。

#### （11）事務局報告

##### 【JCC70周年記念事業】

・2月23日（日）テープハッサディンスタジアムにて、開催されたJCC70周年記念事業について報告した。同好会・青少年サークルの4団体（歌謡コーラス・ジャズ研究会、プラスバンドサークル、剣道サークル、女性コーラス）がステージにて演舞を行つた。

・歌謡コーラス・ジャズ研究会が「花」・「はじめてのチュウ」・「上を向いて歩こう」を演奏した。プラスバンドサークルが続いて「夏祭り」を演奏し、その後映画「キルビル」のテーマ曲「仁義な戦い」の演奏とともに剣道サークルが入場、剣道形演武を披露。演武後には櫓から影武者が登場し、子ども達が素振りや打ち込みで、影武者を退治した。

・女声コーラスは、「翼をください」「夢をあきらめないで」「夢をかなえてドラえもん」を披露した。

・クルンテープ写真俱楽部は、会場内の写真撮影で参加協力した。

・出店では、石井理事の声がけで、日本人会ブースとして、The Japan 酒の店、会員有志の方が出店協力し、カレーライス・おでん・おにぎり・かき氷・焼餅・さくら餅・たこ焼きなどの販売、お子さま向けの水風船や、くじ引き実施した。事務局職員は、浴衣を着て日本人会ブースの手伝いの他、盆踊り実施時には、櫓の周りで、踊の輪を先導した。

・盤谷日本人商工会議所（JCC）藤会頭より島田会長宛てにお礼状をいただいている。

##### 【別館からの報告】

・2月21日（金）～25日（火）にかけて、日本人会別館事務局オフィスの家具を入れ替えた。それに伴い、LANの配線工事も実施した。2月26日（水）別館エアコン入替工事が完了した。

10. 2月度理事会議事録承認

→異議なく承認された

11. 理事会出席者（敬称略、順不同）

島田会長、日高（丸紅）、佐藤、室賀副会長、油井、小田原、日高（日高洋行）、神原、熊本、大内、澤田、田中、土田、服部、井上、垣内、大久保各理事、成嶌在タイ日本国大使館領事部長、藤原バンコク日本人学校校長、鈴木 JICA 所長、易木 JCC 事務局長、藤原報道代表、猪股氏、近藤氏（日高（丸紅）副会長後任）、作道氏（鈴木 JICA 所長後任）、事務局（村上・松田陽平・松田華香）